



# 南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！アクティブ南関中」

R4南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 2 (文責 永杉尚久)

## 南関中で育てたい3つの力

学校便り第1号で、「自分の限界に挑戦する」という1年間の心構えをお伝えしました。

今回は、生徒たちが「自分の限界に挑戦する」ことで身に付けて欲しい3つの力を紹介します。

なお、カギ括弧「」の部分はそれぞれの力のキャッチフレーズです。先生方に考えていただきました。

### ① (主体的挑戦力)

自分で考え判断し、積極的に表現・行動する力

「**自ら考え、自ら発信、自らアクション**」

### ② (夢実現力)

自分の将来をみつめ、粘り強く自己実現に取り組む力

「**目標を持ち、目標にチャレンジ**」

### ③ (絆構築力)

他者を大切にし、多様性を受け入れる力

「**自分の気持ちを伝えよう  
相手の気持ちを受け止めよう**」

この3つの力は、生徒たちが本校を卒業し、社会に羽ばたいていく時に必要になるであろう能力を先生方と考えると絞り込んだものです。

これからの教育活動の中で、3つの力の育成をめざして取り組んでいきます。

## 家庭訪問が始まりました。

早くも2週間が経ち、学校も本格的に学習活動が行われています。1年生の様子も少しずつ緊張感にとれて笑顔や笑い声が校内で見られています。

今週から家庭訪問が始まりました。担任がそれぞれのご家庭におじゃましております。ご多用な中にご対応よろしくお願ひします。

短い時間ですが、担任が保護者の皆様とコミュニケーションをとる大切な機会と学校では捉えております。進学や進級による子どもたちの変化、心配されていることや相談したいこと、学校生活のお尋ねなど遠慮なくお出してください。

## 今日の論語

子曰わく、

「辞は達するのみ。」と。

先生は言われた、「言葉は、相手にその意味が伝わるようにすることが大事である。」と。

この言葉は、私自身の戒めとしていつも心にとめていて教えます。自分の気持ちを相手に伝えるために、言葉は大切な役割を担っています。しっかりと意味を理解し、自分の言葉で相手に丁寧に届けたいものです。

子どもたちの前に立つて話をする時には、分かりやすい話をする心をかけています。しかし、難しい限りです。

## お知らせ

○ 養護教諭の甲斐先生が出産の準備のために4月20日からお休みに入られました。しばらくの間、甲斐先生とはお会いできませんが、元気な赤ちゃんが生まれますことお祈りしたいと思います。

甲斐先生に替わって、若宮 奏恵(わかみや かなえ)先生がお出でになりました。若宮先生は、今年九州看護福祉大を卒業され南関中で勤務されることに張り切っておられます。早く南関中に慣れて、生徒のみなさん、保護者の皆様とたくさんコミュニケーションをとっていただきたいと思っています。よろしくお願ひします。

